

SDGsに取り組むお客さまを紹介します！

一本の糸を紡ぐように、全員が一丸となってSDGsに取り組む！



会社概要

会社名：廣岡紡績株式会社
代表取締役：市道 裕久 氏
所在地：大阪府泉南市信達市場1988
設立：昭和34年3月
従業員数：30名
事業内容：カーペット用パイル糸の製造等
TEL：072-484-1236
Webサイト：<https://www.hirooka-spinning.co.jp>



多様な人材が活躍！全員でロス削減に取り組む

当社は設立以来、泉州地域の地場産業である紡績業を営んでいます。具体的には、ホテルやショッピングモールなどで使用されるタイルカーペット用のパイル糸が主力商品です。

製造部門においては、余った糸は廃棄せず試作品に再利用し、可能な限りロスを削減しています。繊維くずはリサイクルに回しますが、当社で素材や色ごとに分別し、リサイクル業者が再利用しやすいように努めています。営業部門においては、3年前にインターネットFAXを導入し、ペーパーレス化を図っています。

人材活用の面では、性別にとらわれず適性や意欲を尊重して職務内容を決めることで、従業員の活躍推進を図っています。また、外国からの技能実習生を積極的に受入れ、異文化交流を通じて社内に新しい価値観を取入れています。実習生の中には、帰国後、永住権を取得し、入社して製造ラインリーダーに抜擢された人もいます。このような組織の活性化への取り組みが注目を集め、他の多くの企業から視察の依頼も受けています。



継続して行うことが企業の力に

元々はコスト意識の高まりから余った糸や繊維くずのリサイクルに取り組みました。性別にとらわれず職務内容を決めることも「社員みんなが明るく、一体感のある会社になりたい」という想いからスタートしています。いずれも国連でSDGsが採択される前から取り組んでいることです。継続しているうちに、世の中でSDGsの機運が高まり、当社の取り組みもSDGsにつながっていると理解するようになりました。

最近では、取引先からSDGsへの取り組みについて問い合わせが増えています。SDGsへの取り組みは、社会貢献だけではなく、企業にとって生存戦略の一つになってきていると感じています。



従業員に還元し好循環を生み出す

最も大切にしていることは、従業員一人ひとりとしっかりコミュニケーションをとることです。新たな取り組みを始める際は、丁寧に説明し、従業員の意見を聞きます。考えや想いを共有し、ブラッシュアップしていくことが、意識の底上げにつながります。このため、従業員が遠慮なく意見を言えるような風通しの良い職場づくりを心がけています。

SDGsの取り組みは、事務効率化や経費削減につながることも多く、利益の余剰を従業員へ還元することができます。従業員への還元はモチベーションの向上につながり、さらに頑張ろう、といった好循環が生まれます。SDGsの取り組みを継続することは、企業が成長、進化していくうえでも、とても重要なことだと思います。